

200921034A

厚生労働科学研究費補助金

長寿科学総合研究事業

医療機関受診者を対象として
高齢者骨折の実態調査に関する研究

平成21年度 総括・分担研究報告書

研究代表者 遠藤 直人

平成22年(2010年)3月

厚生労働科学研究費補助金

長寿科学総合研究事業

医療機関受診者を対象として
高齢者骨折の実態調査に関する研究

平成21年度 総括・分担研究報告書

研究代表者 遠藤 直人

平成22年(2010年)3月

目 次

I. 総括研究報告 研究代表 遠藤直人

医療機関受診者を対象として高齢者骨折の実態調査に関する研究	3
課題番号 H21-長寿—一般—004	

資料1：アンケート調査用紙、記入方法について	6
電子（エクセル）入力について	12
資料2：1）ポスター、2）啓発パンフレット、3）データ資料	25
資料3：既報の参考文献	37

II. 研究者名簿

101

研究代表者

研究分担者および研究協力者

北海道地域、関東・横浜地域、鳥取地域、沖縄地域

新潟地域（新潟市、佐渡市地域、新潟県内地域、山形県鶴岡市地域）

III. 分担研究報告

北海道地域	担当：札幌医科大学大学院 山下敏彦	103
関東・横浜地域	担当：横浜市立大学大学院 齋藤知行	104
鳥取地域	担当：鳥取大学大学院 萩野 浩	105
沖縄地域	担当：琉球大学 金谷文則	106
新潟地域	担当：新潟大学 遠藤直人、新潟医療福祉大学 山本智章	107
新潟市	担当：山本智章	
佐渡市地域	担当：佐久間真由美	
新潟県内地域	担当：宮坂 大	
山形県鶴岡市地域	担当：上野欣一、佐藤慎二	

IV. 研究成果の刊行に関する一覧表

109

V. 研究成果の刊行物、別刷

111

医療機関受診者を対象として高齢者骨折の実態調査に関する研究

研究代表者 遠藤直人

新潟大学大学院 医歯学総合研究科 機能再建医学講座整形外科学分野 教授

研究要旨

本研究は医療機関を受診した高齢者の骨折の実態調査をおこない、骨折種類別の骨折発生率、骨折の原因を明らかにし、今後の骨折予防・健康寿命の延伸対策立案に役立てることを目的とする。

高齢者では脊椎椎体圧迫骨折、大腿骨頸部（近位部）骨折、上腕骨近位部骨折、橈骨遠位骨折の主要な4骨折がみられ、まれに骨盤骨折、肋骨骨折も見られる。現在までにそれぞれの骨折の疫学調査は、日本の各地でおこなわれてきた。しかし、いずれも1-2骨折についてのみの調査結果であり、また限られた地域内での調査結果であった。検索された限りにおいては骨粗鬆症性の4骨折について同一の期間、同一の地域内での調査をおこなった報告は新潟県佐渡市にて2004年に行われた調査結果報告のみであった。

本研究では全国から北海道、新潟、関東（横浜）、山陰（鳥取）、沖縄において地域を設定して（例：新潟市、人口80万人）、同一期間（平成22年の1年間）、同一地域内のすべての病院、診療所を対象とし、調査することで医療機関を受診した高齢者骨折全患者を捕捉することをめざす点に特色と独創性がある研究である。本研究を通して高齢者社会での寝たきり防止、生活の質の保たれた生活の維持、ひいては健康寿命延伸につながる施策の構築をめざす情報を得ることを目的とする。

A. 研究目的

本研究は医療機関を受診した高齢者の骨折の実態調査をおこない、骨折種類別の骨折発生率、骨折の原因を明らかにし、今後の骨折予防・健康寿命の延伸対策立案に役立てることを目的とする。

B. 研究立案と研究方法

高齢者では脊椎椎体圧迫骨折、大腿骨頸部（近位部）骨折、上腕骨近位部骨折、橈骨遠位骨折の主要な4骨折がみられ、まれに骨盤骨折、肋骨骨折も見られる。現在までにそれぞれの骨折の疫学調査は、日本の各地でおこなわれてきた。しかし、いずれも1-2骨折についてのみの調査結果であり、また限られた地域内での調査結果であった。検索された限りにおいては骨粗鬆症性の4骨

折について同一の期間、同一の地域内での調査をおこなった報告は新潟県佐渡市にて2004年に行われた調査結果報告のみであった。

本研究では全国から北海道、新潟、関東（横浜）、山陰（鳥取）、沖縄において地域を設定して（例：新潟市、人口80万人）、同一期間（平成22年の1年間）、同一地域内のすべての病院、診療所を対象とし、調査することで医療機関を受診した高齢者骨折全患者を捕捉することをめざす研究計画を立案した。

立案する上で、考慮したことは1）大腿骨頸部骨折は原則として、全例入院・手術となることから、病院の調査ではほぼ全数捕捉は可能である。2）一方、脊椎椎体骨折、上腕骨頸部、橈骨遠位骨折では必ずしも全例が入院するものではなく、

診療所で診療・治療している例も少なくないことから、骨折全数を捕捉する上で診療所を含めての調査をおこなう必要があること、であった。

以上を考慮して、以下の調査方法、経年的計画とした。

- ・3年間をかけて、準備から実際の調査、さらには解析・結果公表をめざす。
- ・平成21年度 立案した研究内容を倫理委員会にて審査。調査用紙、データ入力システムの準備をおこなう。同時に対象地域内の整形外科を標榜する医院、病院へ本研究の説明をおこない、調査入力用紙の配布とともに調査方法の統一化をはかる。
- ・平成22年 調査実施（平成22年1月1日から12月31日まで）

対象地域内の整形外科を標榜する医院、病院に受診している高齢者骨折の全数調査をおこなう。

- ・平成23年 調査をまとめ、解析する。公表するとともに骨折予防策について検討を進める。

研究方法

医療機関を受診した高齢者の骨折の実態調査をおこない、骨折種類別に骨折数、骨折頻度（人口当たりの骨折率）、骨折の原因を年代別調査解析。

- ・2010（平成22）年1月1日から12月31日の間に発生した骨折患者さんで医療機関（病院、医院）を受診した方を対象とする。
- ・年齢50歳以上、男女を問わず。
- ・腫瘍による病的骨折、交通事故、労災をのぞく
- ・当該地域に居住している（例：新潟地域では、住所が新潟県新潟市、佐渡市の方を対象）
- ・骨折は脊椎椎体圧迫骨折、大腿骨頸部（近位部）骨折、上腕骨近位部骨折、橈骨遠位骨折
- ・調査項目：年齢、性別、骨折の種類（上記）、骨折原因：転倒、転落、その他
- ・可能な例では骨折危険因子の有無についても検討する
- ・入院・外来の別

調査地域：

- ・新潟市（人口80万人、高齢化率22％）にて行う：新潟市内の医療機関のうち、整形外科を標榜する病院、診療所すべてを調査。新潟市に住所のある方で、受診した骨折者を対象。
- ・新潟県佐渡市（人口7万人弱、高齢化率38％）にて行う：佐渡市に住所のある方で、佐渡市内の医療機関（病院、診療所で整形外科、骨折者が受診すると思われる施設）を受診した骨折者
- ・北海道、横浜、鳥取、沖縄、新潟県鶴岡市においては設定した地域（市町レベルの人口規模）にて行う：同地域に住所のある方で、医療機関（病院、診療所で整形外科を標榜する施設）を受診した骨折者
- ・新潟県内（新潟市、佐渡市を含む）においてはあわせて大腿骨頸部骨折調査をおこなう。

なお、過去の報告を参考にして、統計担当の分担研究者と意見交換し、調査項目を決定し、予測骨折数などを推測し、調査終了後の統計解析を考慮して、入力ミスのないように、また重複回避につとめた。

（参考資料1, 3）

本研究は新潟大学倫理委員会にて承認を受けている。（平成21年11月9日付）

C. 研究結果

調査研究を進めるにあたり、各分担研究者および研究協力者により、調査地域、調査項目、調査項目の記入、入力方法について検討を重ね、資料1に示す内容で決定した。

その後、各地域において、調査参加施設、協力医師、スタッフを募り、数回にわたる説明会を通して、調査方法、入力方法の統一化を図った。

さらに啓発活動のためにポスター、パンフレットを作成、調査地域に広く配布した。（資料2）

2010年1月1日より、各地域において調査を開始した。

D. 考察

2010年1月1日より調査を開始した。

高齢者の骨折について、病院、診療所を含めた医療機関を受診した骨折者の実態を明らかにできる調査である。すなわち、骨折の種類別の骨折発生数、年代別・性別差異を明らかに出来、また骨折の原因について転倒、その他の要因別の結果を明らかに出来る。さらには全国レベルでの地域差、佐渡市をモデルとして高齢化の進んだ地域の調査より、将来の高齢者社会での骨折の状況を推測できる結果を得ることが出来ると期待される。

加えて4骨折相互の関連を明らかにできると期待される。

以上の結果は現在、医療機関を受診する骨折者の実態を知ることができ、また骨折の原因などを知ることができる。厚生労働の課題である健康寿命の延伸を目指す上で、本研究は高齢者の健康寿命を阻害する高齢者骨折の実態を知ることができる有用な資料となるものであろう。

E. 結論

骨粗鬆症性4骨折の疫学調査が全国広い地域で計画され、2010年1月1日より大規模に開始された。この結果は行政および社会への貢献につながるもので今後の骨折対策、骨折予防対策を通じて、骨折発生の減少を期待でき、国民の保健・医療・福祉の向上を期待できると思われる。

F. 健康危険情報

特記なし

G. 研究発表

特になし

H. 知的財産権の出願・登録状況

特になし

平成 22 年(2010 年)大腿骨近位部 骨折調査票 記入のお願い

- ◇ 平成22年(2010年)1月1日～平成22年(2010年)12月31日に受傷した大腿骨近位部骨折(いわゆる大腿骨頸部骨折)の患者について、記入例をご参照の上、同封の調査用紙にご記入下さい。(あるいはExcel入力を準備しています。)
- ◇ 期間内の再骨折例は対象となりますが、偽関節等による再手術例は除外して下さい。
また同じ骨折の治療で2度入院した際は、最初の入院分のみご記載ください。
- ◇ 腫瘍による病的骨折は含めないで下さい。抜釘のためのみの入院は含めないでください。
- ◇ 対象症例が無い場合にもその旨をご記入の上、ご返送下さい。
- ◇ 2枚一組での複写です。下敷きを用いて記入ください。記入後、2枚目を切り取り線で切り離し、切り離れた2枚目のみをご返送ください。それ以外は貴院にて保存ください。
- ◇ 氏名、カルテNoは1枚目(貴院保管)だけで、2枚目(返送用)には複写されません。
- ◇ 年齢、生年月(個人情報の観点から月までにとどめています。日は不要です)
西暦あるいは和暦(M 明治、T大正、S昭和のいずれかに○をつけてください)年(数字)、月を記載ください。同封の年齢早見表もご参考にされてください。
- ◇ 初診日: 通院中の患者は、骨折のために受診した日を初診日として数字を記載下さい。
2011年に初診では「□2011年」にレを記載下さい。
- ◇ 紹介受診例では記載ください。(該当しない場合は空欄としてください)
- 1) □前医にて手術を受けることなく、貴院に紹介されて、初診された場合。
- 2) □前医にて手術を受けた後に、貴院に紹介されて、初診された場合。□にレを記入して下さい。
- 1) に該当する場合、「骨折日、初診日、手術日を含めて全項目」を記載ください。
- 2) に該当する場合、手術に関する項目の記入は不要です。
- ◇骨折日: 骨折日を記載ください。不明では「□骨折月日不明」にレを記載下さい。
- ◇左右別、骨折型:
1. 大腿骨頸部: 頸部骨折は neck fracture、いわゆる内側骨折。
2. 転子部骨折 は trochanteric fracture、いわゆる外側骨折。(骨頭骨折は除外)、転子下骨折は転子部骨折に含めて下さい。
- ◇ 受傷場所 1. 屋内、2. 屋外、3. 不明 のいずれかを選択ください

受傷原因：

1. 寝ていて・体を捻って (□. オムツ骨折) 2. 立った高さからの転倒
 3. 階段・段差の踏み外し 4. 転落・交通事故 5. 記憶無し
 6. その他、不明 の分類により記載ください。

1. 寝ていて・体を捻って の、寝たきり症例の介護に際しておむつを当てたり清拭をしたりした時に骨折を起こした症例は □. おむつ骨折 にもレをして下さい。

ベッドからの落下および歩行困難でベッドから車椅子に介護者が移乗させる際の受傷は 2. 立った高さからの転倒 に含めて下さい。

自転車での転倒は4. 転落・交通事故に含めて下さい。

5. 記憶無し は本人に受傷時の記憶が無い場合

6. 不明 はカルテに記載が無い、認知症のため確認できない場合等です。

◇ 貴院での治療、施行手術内容、手術ない（未施行）について

手術なし・・・ 4, 5のいずれかから選択してください。

手術ある場合には手術日： 貴院にて手術した月日について記載ください。 2011年に手術では「□2011年」にレを記載下さい。下記の1, 2, 3から選択をお願いします。

施行した手術内容： 1. 人工骨頭（関節）置換術、人工物、2. 骨接合：骨接合術

3. その他・不明 から選択して記載して下さい。

(手術)をしないで、他院に転院した例では、手術日および手術法は空欄として下さい。

◇ 入院期間： 現在入院中の患者に関しては退院日を空白のままで結構です。退院日が平成23（2011）年の場合にも、わかる範囲でその退院日をご記入下さい。また術後リハビリ目的などで転院して入院された場合は、記入不要です。

他の疾患ですでに入院していた場合は、入院期間は空白として下さい。

急性期（一般）病棟から病院内で回復期リハ病棟や療養型へ移った場合、また他の診療科へ転科・転棟した場合には、全ての病棟での入院期間を含め、貴院を退院（転院）した日までの、入院期間をご記入下さい。

◇ 骨粗鬆症の治療は「骨折前に内服薬剤、エルシトニン注射が継続して6か月間以上おこなわれていた」場合です。それ未満では「治療していない」とします。

◇ 骨折の既往は患者さん、ご家族に尋ねての内容です。(X線での確認は不要です)

◇ ご記入いただけましたら、切取線（ミシン目）から切り取って、「2枚目送付用」のみご返送下さい。

連絡先：〇〇〇〇大学 担当〇〇〇〇

平成 22 年(2010 年)脊椎椎体、上腕骨近位部、橈骨遠位 骨折調査票 記入のお願い

- ◇ 平成22年(2010年)1月1日～平成22年(2010年)12月31日に受傷した脊椎椎体、上腕骨近位部、橈骨遠位 骨折の患者について、記入例をご参照の上、同封の調査用紙にご記入下さい。(あるいはExcel入力を準備しています。)
- ◇ 期間内の再骨折例は対象となりますが、偽関節等による再手術例は除外して下さい。また同じ骨折の治療で2度入院した際は、最初の入院分のみご記載ください。
- ◇ 腫瘍による病的骨折は含めないで下さい。抜釘のためのみの入院は含めないでください。
- ◇ 対象症例が無い場合にもその旨をご記入の上、ご返送下さい。
- ◇ 2枚一組での複写です。下敷きを用いて記入ください。記入後、2枚目を切り取り線で切り離し、切り離れた2枚目のみをご返送ください。それ以外は貴院にて保存ください、
- ◇ 氏名、カルテNoは1枚目（貴院保管）だけで、2枚目（返送用）には複写されません。
- ◇ 年齢、生年月（個人情報の観点から月までにとどめています。日は不要です）

西暦あるいは和暦（M 明治、T大正、S昭和のいずれかに○をつけてください）年（数字）、月を記載ください。同封の年齢早見表もご参考にされてください。

- ◇ 紹介受診例では記載ください。（該当しない場合は空欄としてください）

1) ☐ 他院から貴院に紹介されて、初診された場合。

2) ☐ 貴院から他院へ紹介・転院した場合。☐ にレを記入して下さい。

- ◇ 骨折日：骨折日を確認ください。不明では「☐骨折月日不明」にレを記載下さい。

骨折の種類は下記を対象にしております。

- ◇ 脊椎椎体圧迫骨折：疼痛があり、X線、あるいは骨シンチ、MRIで新鮮骨折を確認できた例です。腰椎あるいは胸椎椎体骨折です。頸椎骨折は含みません。

症状がなく、X線撮影で偶然に骨変形が認められた例は「既存骨折、形態骨折」ですので本調査には該当しません。

- ◇ 上腕骨近位部骨折：上腕骨近位1/4くらいを対象としてください

- ◇ 橈骨遠位骨折：橈骨遠位1/3くらいを対象としてください。

- ◇ 場所：骨折を受傷した場所です。

- ・ 1 屋内
- ・ 2 屋外（交通事故） 乗車中の事故、歩行中に車と接触・転倒し骨折など
- ・ 3 屋外（交通事故以外） 歩行中、転倒など
- ・ 4 不明

◇ 骨粗鬆症の治療は「骨折前に内服薬剤、エルシトニン注射が継続して6か月間以上おこなわれていた」場合です。それ未満では「治療していない」とします。

◇ 骨折の既往は患者さん、ご家族に尋ねての内容です。（X線での確認は不要です）

◇ ご記入いただきましたら、切取線（ミシン目）から切り取って、「2枚目送付用」のみご返送下さい。

連絡先：新潟大学医学部整形外科学教室
担当：芝

TEL:025-227-2272

FAX:025-227-0782

E-mail:shiba@med.niigata-u.ac.jp

厚生労働科学研究費補助金 長寿科学総合研究事業
「医療機関受診者を対象として高齢者骨折の実態調査に関する研究」

2枚複写です。

大腿骨近位部骨折用

(2枚目を切り取り線で切り離し、2枚目のみをご返送ください。)

番号○をつけてください。当てはまる場合には□にレを付けてください

地 域	#住所が該当地域内の方(他地域からの来訪者は除く) ※腫瘍による病的骨折は除外
氏 名	
カルテNo	
年 齢	_____才(※50歳以上) 生年月：19____(M, T, S____)年____月
性 別	1. 男 2. 女
初診日 紹介受診例 骨折日 左右別 骨折型 受傷場所 受傷原因	初診日 2010年____月____日 (あるいは□ 2011年) □ 前医にて手術を受けていない □ 前医で手術後、紹介される 骨折日 2010年____月____日 □ 骨折月日不明 1. 右 2. 左 1. 大腿骨頸部 2. 転子部 (転子下骨折を含む) 1. 屋内 2. 屋外 3. 不明 1. 寝ていて・体を捻って (□ オムツ骨折) 2. 立った高さからの転倒 3. 階段、段差の踏み外し 4. 転落・交通事故 5. 記憶なし 6. その他、不明 (_____)
貴院での手術 施行手術内容	手術日 2010年____月____日 (□ 2011年) 1. 人工物での置換 2. 骨接合 3. その他・不明
手術ない場合	4. 手術のため他院へ紹介・転院 5. 手術なしで自宅退院、施設へ移る (現在、入院中を含む)
入院期間	2010年____月____日から____月____日 (あるいは□ 2011年)
骨粗鬆症の治 療(骨折前に)	1. 骨粗鬆症の薬剤治療中 (6か月間以上継続中) 2. 治療していない (上記に該当しない) 3. 不明
骨折の既往 (50歳以降)	1. 大腿骨近位部 2. 脊椎椎体骨折 3. その他の骨折(_____) 4. なし 5. 不明

事務局記載欄 登録 ID _____

番号2010-288888

注意：日本整形外科学会骨粗鬆症委員会調査項目を含む。 2011年に「2010年発生の大腿骨頸部骨折発生数調査」依頼があると思います。その折にこれをそのまま使うことができます。

1枚目：施設保管用

脊椎椎体、上腕骨近位部、橈骨遠位骨折用

2枚複写です。 (2枚目を切り取り線で切り離し、2枚目のみをご返送ください)

番号に○を付けてください、当てはまる場合には□にレを付けてください

地 域	#住所が該当地域内の方(他地域からの来訪者は除く) #骨折日が2010年1月1日から12月31日内であること (骨折日が不明であるときは初診日が2010年1月1日から12月31日内 であること) ※腫瘍による病的骨折は除外
氏 名	
カルテNo	
年 齢	_____才(※50歳以上) 生年月：19____(M, T, S____)年____月
性 別	1. 男 2. 女
紹介 骨折日 骨折の種類	☐ 紹介され、受診 ☐ 他院へ紹介・転院 ☐ 骨折日 2010年内である ☐ 骨折月日は不明 1. 脊椎椎体圧迫骨折 (新規。胸椎-腰椎骨折であること) 2. 上腕骨近位部骨折 ☐ 右 ☐ 左 3. 橈骨遠位骨折 ☐ 右 ☐ 左
場 所	1. 屋内 2. 屋外(交通事故) 3. 屋外(交通事故以外) 4. 不明
骨粗鬆症の治 療(骨折前)	1. 骨粗鬆症の薬剤治療中 (6か月間以上継続中) 2. 治療していない (上記に該当しない) 3. 不明
骨折の既往 (50歳以降の骨折)	1. 大腿骨近位部 2. 脊椎椎体骨折 3. その他の骨折(____) 4. なし 5. 不明

事務局記載欄 登録 ID _____

番号2010-188888

骨折情報入力マニュアル (医療機関用)

目次

1. 骨折情報入力画面	1
2. 骨折情報入力画面の構成	2
3. 骨折情報入力画面の操作	3
4. 骨折情報入力画面の印刷	4
5. 骨折情報入力画面の検索	5
6. 骨折情報入力画面の印刷	6
7. 骨折情報入力画面の印刷	7
8. 骨折情報入力画面の印刷	8
9. 骨折情報入力画面の印刷	9
10. 骨折情報入力画面の印刷	10
11. 骨折情報入力画面の印刷	11
12. 骨折情報入力画面の印刷	12
13. 骨折情報入力画面の印刷	13
14. 骨折情報入力画面の印刷	14
15. 骨折情報入力画面の印刷	15
16. 骨折情報入力画面の印刷	16
17. 骨折情報入力画面の印刷	17
18. 骨折情報入力画面の印刷	18
19. 骨折情報入力画面の印刷	19
20. 骨折情報入力画面の印刷	20
21. 骨折情報入力画面の印刷	21
22. 骨折情報入力画面の印刷	22
23. 骨折情報入力画面の印刷	23
24. 骨折情報入力画面の印刷	24
25. 骨折情報入力画面の印刷	25
26. 骨折情報入力画面の印刷	26
27. 骨折情報入力画面の印刷	27
28. 骨折情報入力画面の印刷	28
29. 骨折情報入力画面の印刷	29
30. 骨折情報入力画面の印刷	30
31. 骨折情報入力画面の印刷	31
32. 骨折情報入力画面の印刷	32
33. 骨折情報入力画面の印刷	33
34. 骨折情報入力画面の印刷	34
35. 骨折情報入力画面の印刷	35
36. 骨折情報入力画面の印刷	36
37. 骨折情報入力画面の印刷	37
38. 骨折情報入力画面の印刷	38
39. 骨折情報入力画面の印刷	39
40. 骨折情報入力画面の印刷	40
41. 骨折情報入力画面の印刷	41
42. 骨折情報入力画面の印刷	42
43. 骨折情報入力画面の印刷	43
44. 骨折情報入力画面の印刷	44
45. 骨折情報入力画面の印刷	45
46. 骨折情報入力画面の印刷	46
47. 骨折情報入力画面の印刷	47
48. 骨折情報入力画面の印刷	48
49. 骨折情報入力画面の印刷	49
50. 骨折情報入力画面の印刷	50
51. 骨折情報入力画面の印刷	51
52. 骨折情報入力画面の印刷	52
53. 骨折情報入力画面の印刷	53
54. 骨折情報入力画面の印刷	54
55. 骨折情報入力画面の印刷	55
56. 骨折情報入力画面の印刷	56
57. 骨折情報入力画面の印刷	57
58. 骨折情報入力画面の印刷	58
59. 骨折情報入力画面の印刷	59
60. 骨折情報入力画面の印刷	60
61. 骨折情報入力画面の印刷	61
62. 骨折情報入力画面の印刷	62
63. 骨折情報入力画面の印刷	63
64. 骨折情報入力画面の印刷	64
65. 骨折情報入力画面の印刷	65
66. 骨折情報入力画面の印刷	66
67. 骨折情報入力画面の印刷	67
68. 骨折情報入力画面の印刷	68
69. 骨折情報入力画面の印刷	69
70. 骨折情報入力画面の印刷	70
71. 骨折情報入力画面の印刷	71
72. 骨折情報入力画面の印刷	72
73. 骨折情報入力画面の印刷	73
74. 骨折情報入力画面の印刷	74
75. 骨折情報入力画面の印刷	75
76. 骨折情報入力画面の印刷	76
77. 骨折情報入力画面の印刷	77
78. 骨折情報入力画面の印刷	78
79. 骨折情報入力画面の印刷	79
80. 骨折情報入力画面の印刷	80
81. 骨折情報入力画面の印刷	81
82. 骨折情報入力画面の印刷	82
83. 骨折情報入力画面の印刷	83
84. 骨折情報入力画面の印刷	84
85. 骨折情報入力画面の印刷	85
86. 骨折情報入力画面の印刷	86
87. 骨折情報入力画面の印刷	87
88. 骨折情報入力画面の印刷	88
89. 骨折情報入力画面の印刷	89
90. 骨折情報入力画面の印刷	90
91. 骨折情報入力画面の印刷	91
92. 骨折情報入力画面の印刷	92
93. 骨折情報入力画面の印刷	93
94. 骨折情報入力画面の印刷	94
95. 骨折情報入力画面の印刷	95
96. 骨折情報入力画面の印刷	96
97. 骨折情報入力画面の印刷	97
98. 骨折情報入力画面の印刷	98
99. 骨折情報入力画面の印刷	99
100. 骨折情報入力画面の印刷	100

目次

I. 大腿骨近位部骨折用

	頁
1. 連絡・データ提出先	1
2. 入力	2
(1) 入力方法	2
(2) 必須入力項目	2
(3) 注意事項	3
3. 提出用データファイルの作成	5
(1) 推奨法	5
(2) 代替法	7
4. 整形外科学会調査用紙形式のデータファイル	9

II. 他3部位の骨折用

大腿骨近位部骨折用と異なる点	10
(1) 入力対象	10
(2) 提出用データファイルの項目名	11
(3) 提出用データファイル名の規則	11

I. 大腿骨近位部骨折用

1. 連絡・データ提出先

下記，各地域事務局でご記入下さい。

(1) お問い合わせ先

担当者名：

電話番号：

ファックス番号：

メールアドレス：

(2) 入力データの提出先

(提出用データの作成方法はマニュアルをご参照下さい。)

メールでのご提出の場合

郵送でのご提出の場合

2. 入力

(1) 入力方法

黄色のセルは「プルダウン入力」

水色のセル（生年）は「プルダウン」または「西暦 4 桁手入力」または「西暦下 2 桁手入力」

白色のセルは手入力

入力したデータを消すのは「Delete」または「半角スペース」または「プルダウンで空白を選択」

(2) 必須入力項目

①「住所」

この入力システムは、日本整形外科学会の「大腿骨近位部（頸部）骨折に関する調査」にも対応できるよう作成されています。平成 21 年中に受傷して貴院を受診された大腿骨近位部骨折患者のデータを入力しておくと、日整会の調査にも利用できます。

ただし今回の調査では患者の住所（対象地区）と年齢（50 歳以上）に限定し、整形外科学会ではこのような限定がありませんので、個人情報保護の観点から、調査対象となる患者以外のデータは事務局に提出されないようにする必要があります。

そこで、データ入力時には最初に必ず「住所」をプルダウン入力して下さい。

対象地区に居住する 50 歳以上 → 「該当地域内」

それ以外の全ての患者 → 「対象外」

Microsoft Excel - 大腿骨頸部091127.xls

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) 書式(O) ツール(T) データ(D) ウィンドウ(W) ヘルプ(H) Adobe PDF(B)

MS Pゴシック 10

	A	B	C	D	E	F	G	H
	No	住所(必須)	氏名	カルテ番号	年齢	生年(西暦 入力でも可)	生月	性
1								
2	1							
3	2							
4	3							
5	4							

基本情報 入力 提出用 提出用項目一覧 日整会

図形の調整(R) オートシェイプ(U) コマンド NUM

「対象外」が選択された症例のデータは事務局には提出されないようになります。

「住所」が未入力の場合には「対象外」であってもデータが事務局に届いてしまうことになります。

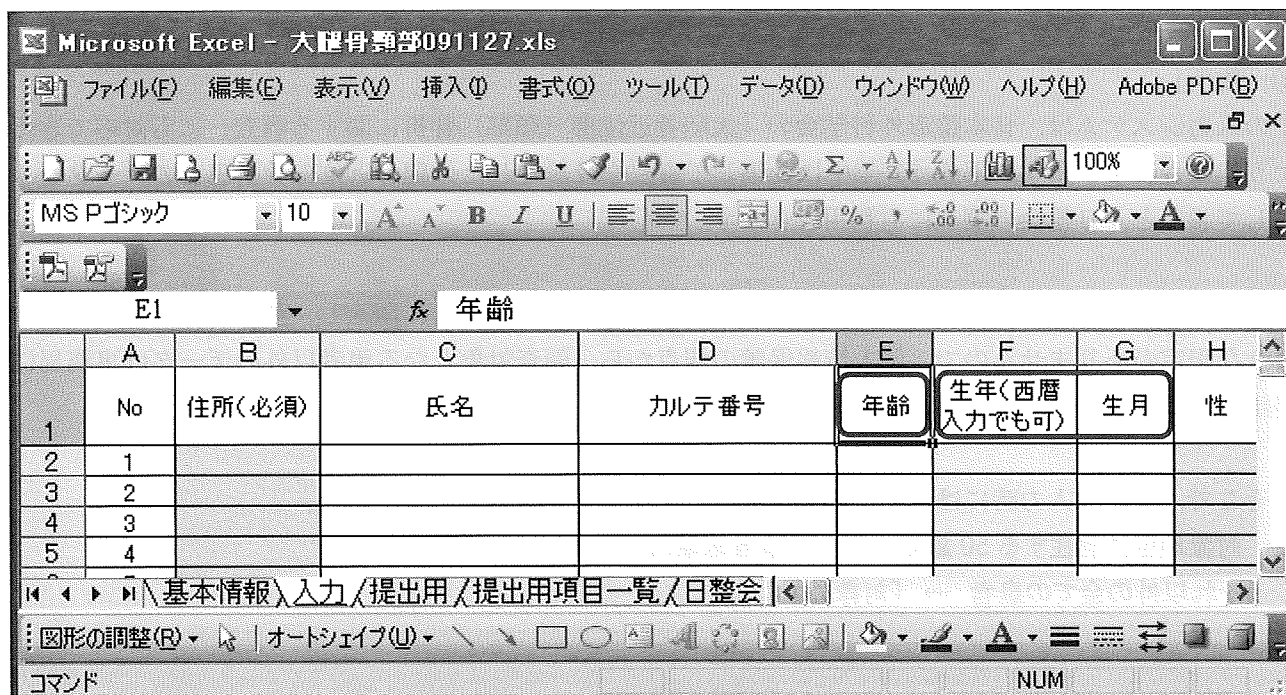
未入力の場合には、後日まとめて各医療機関にお問い合わせさせていただきますので、ご了承下さい。

② 「年齢」または「生年・月」

少なくともいずれかが入力されていないと分析ができません。

できましたら両方ともご入力いただきたくお願いします。

いずれも未入力の場合には後日まとめてお問い合わせさせていただきますのでご了承下さい。



	A	B	C	D	E	F	G	H
	No	住所(必須)	氏名	カルテ番号	年齢	生年(西暦 入力でも可)	生月	性
1								
2	1							
3	2							
4	3							
5	4							

(3) 注意事項

① 「初診年」「骨折年」「手術年」「入院年」「退院年」

いずれも 2010 が事前入力されています。

2010 年に骨折した患者（本調査対象者）、2010 に初診入院した患者（学会調査）いずれにも対応できるよう、骨折年は「2009」、その他は「2011」も選択できるようになっています。

Microsoft Excel - 大腸骨頸部091208.xls

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) 書式(O) ツール(T) データ(D) ウィンドウ(W) ヘルプ(H) Adobe PDF(P) 質問を入力してください

MSPゴシック 10

	A	B	C	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R
1	No	住所(必須)	氏名	性	初診日			前医ある場合のみ選択		骨折日				
2					年	月	日	前医で手術を受けていない	前医で手術後、紹介される	年	月	日	骨折日不明	左右
3	1				2010					2010				
4	2				2010					2010				
5	3				2010					2010				
6	4				2010					2010				

基本情報入力/提出用/提出用項目一覧/日整会用/

図形の調整(R) オートシェイプ(U) コマンド NUM

Microsoft Excel - 大腸骨頸部091208.xls

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) 書式(O) ツール(T) データ(D) ウィンドウ(W) ヘルプ(H) Adobe PDF(P) 質問を入力してください

MSPゴシック 10

	A	B	C	W	X	Y	Z	AA	AB	AC	AD	AE	AF
1	No	住所(必須)	氏名	手術年				手術月		手術日		手術内容	
2				手術年	手術月	手術日	手術内容	手術なしの場合	年	月	日	年	月
3	1			2010					2010			2010	
4	2			2010					2010			2010	
5	3			2010					2010			2010	
6	4			2010					2010			2010	

基本情報入力/提出用/提出用項目一覧/日整会用/

図形の調整(R) オートシェイプ(U) コマンド NUM

②骨折既往歴：なし・不明

Microsoft Excel - 大腸骨頸部091208.xls

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) 書式(O) ツール(T) データ(D) ウィンドウ(W) ヘルプ(H) Adobe PDF(P) 質問を入力してください

MSPゴシック 10

	A	B	C	AH	AI	AJ	AK	AL	AM
1	No	住所(必須)	氏名	骨折既往歴の治療(骨折前に)	骨折の既往				
2					大腿骨近位部骨折	脊椎椎体骨折	その他の骨折	その他の骨折の部位	なし・不明
3	1								
4	2								
5	3								
6	4								
7	5								
8	6								

基本情報入力/提出用/提出用項目一覧/日整会用/

図形の調整(R) オートシェイプ(U) コマンド NUM

どの部位の骨折についても既往歴がない場合に「なし」

骨折既往歴に関する情報がカルテに記載されていない場合に「不明」をご入力下さい。

3. 提出用データファイルの作成

提出用データシートの作成は必ず作業データを保存した後に行ってください。
データは追加登録分ではなく毎回「全データ」を送っていただくをお願いします。

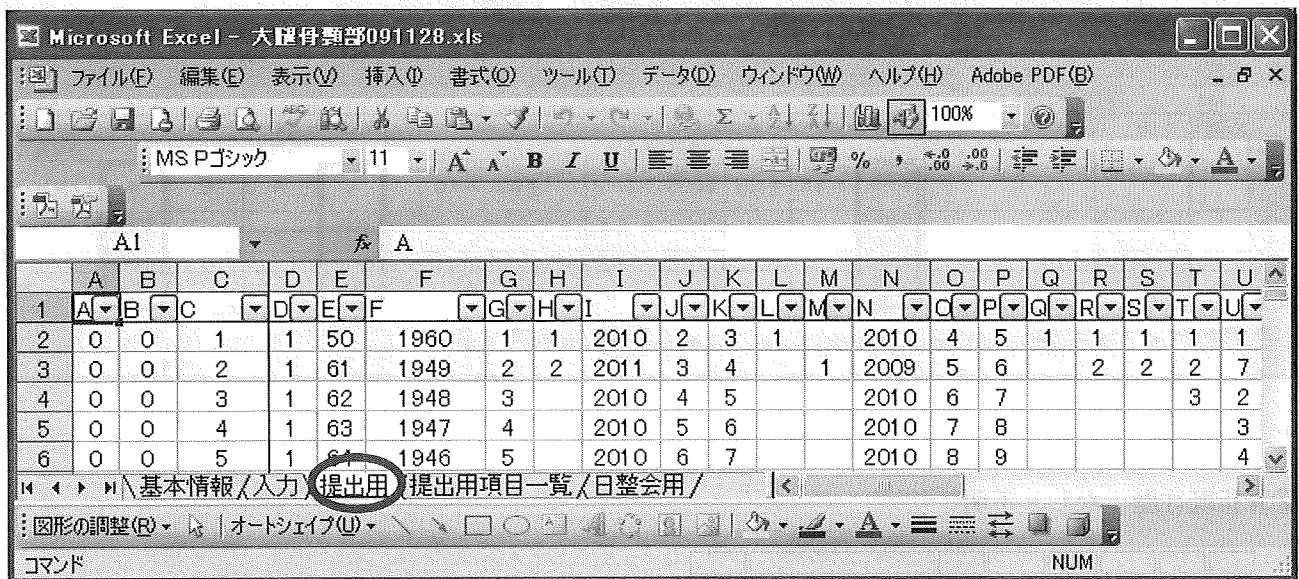
(1) 推奨法：提出用シートからコピーして作成

個人情報保護の観点から、なるべくこの方法をとっていただくようお願いして下さい。

(Windows 版 Excel 2003 を前提に説明しています。Excel 2007 もほぼ同様に可能だと思います。)

(Mac 版は右クリックがないので、マニュアル等でご確認下さい)

提出用シートを表示

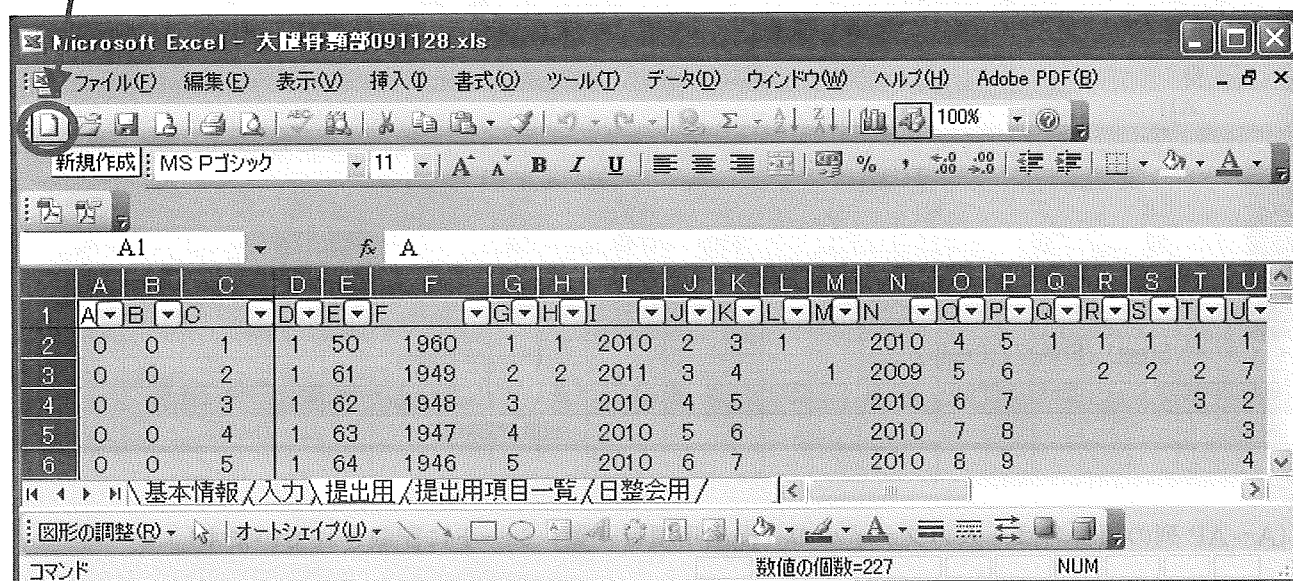


データシートの左上コーナー（Aと1に挟まれた角）を「右クリック」する

全てのデータが選択され、メニューが表示される → コピーを「左クリック」

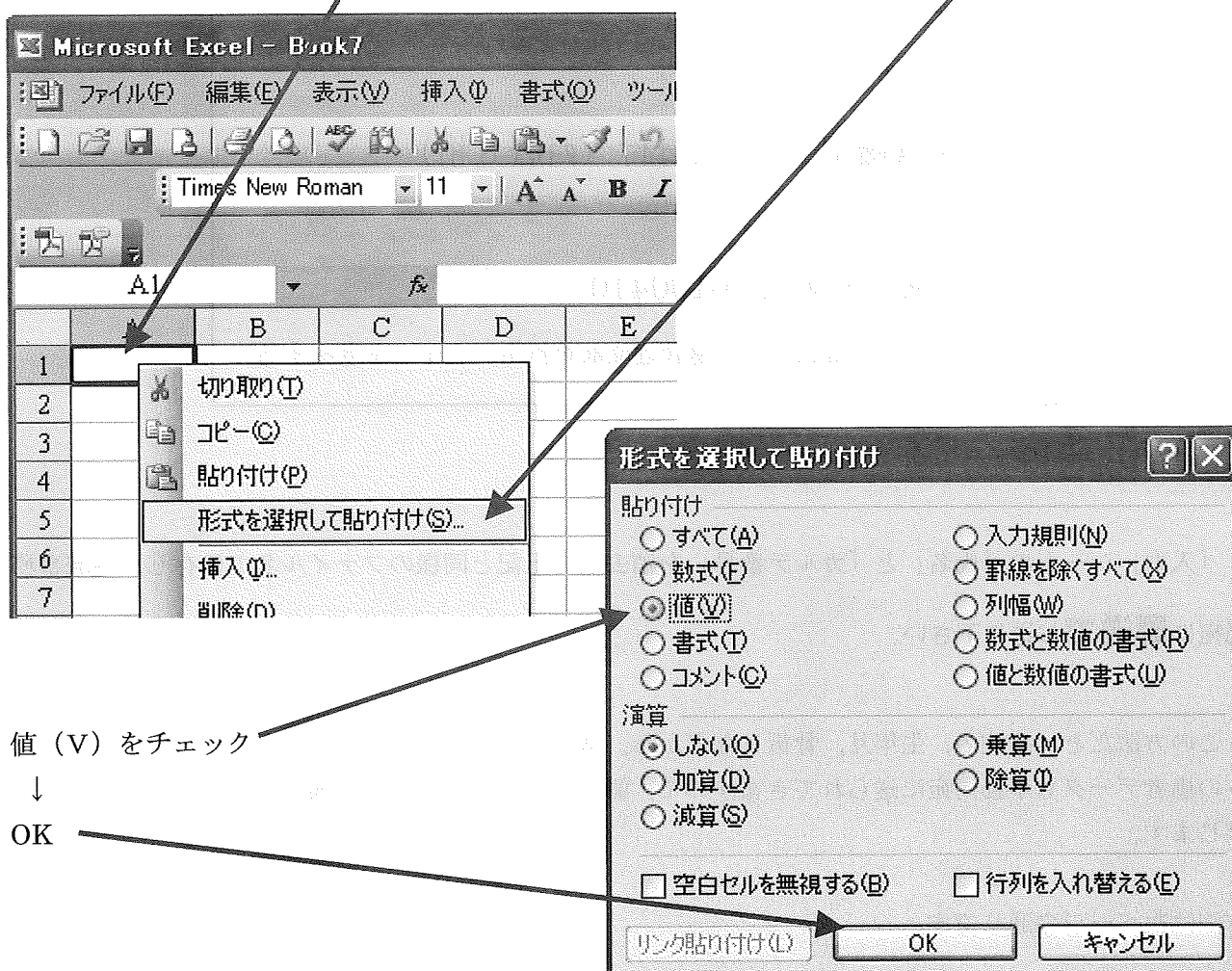


ファイルの新規作成メニューをクリック



空白のファイルが作成される。

左角のセル (A1セル) を「右クリック」→「形式を選択して貼り付け」を「左クリック」



値 (V) をチェック

↓
OK